

読売新聞 & 早稲田大学 企業連携ワークショップ 2024

「認知戦」に立ち向かうには？

～新聞記者と考える～

テーマの概要

現代の社会は情報があふれています。とりわけインターネットとソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）の急激な普及によって、情報を発信するメディアの形態が多様化し、事実とはほど遠い「フェイクニュース」や、著しく偏った言論が世界中で飛び交うようになりました。

近年問題となっているのは、テレビやインターネットなどを通じて偽情報を流し、相手の情勢分析や国家としての意思決定を誤らせる「認知戦」です。こうした状況下で、健全な民主主義社会を守っていくには、前提として一人一人が様々な情報の中から正確で信頼できるニュースを見分け、内容を読み解く必要があります。

読売新聞社は、認知戦が世界中の地域で展開されている現状に警鐘を鳴らすと共に、未来を担う次世代にニュースとの正しい向き合い方を身につけてもらいたいと考えています。本ワークショップでは、SNS を通じてニュースに接する機会が多い大学生の皆さんとの議論を通じて、日本の若者世代はニュースとどう向き合うべきか、信頼できるニュースを選び取っていくために、メディアとどのように接していくべきか、一緒に考えていきたいと思っています。

ニュースについて議論するには、ニュースがどのように生まれるのか、知ることも大切です。このため、読売新聞のベテラン記者に取材して、記事を書いていただき、添削などのフィードバックも行う予定です。

ニュース・リテラシーを考えることは、皆さんが地域社会や世界で活躍するうえでたくさんの情報と向き合うための眼力を磨いてくれるでしょう。特にマス・メディアや教育に興味がある人にはお勧めです。皆さんの応募をお待ちしています。

読売新聞社とは

読売新聞社は、世界最大部数の日刊紙を発行する、日本有数の報道・言論機関です。全国各地に取材網を張りめぐらし、海外にも多数の取材拠点を置いています。本ワークショップは、若い皆さんにジャーナリズムに関心を持ってもらおうと、2019 年度から毎回テーマを変えて実施しており、今年度で 6 回目になります。

企業連携ワークショップとは

企業が提示した課題について、早稲田大学の学生たちが解決に向けた提言に取り組みます。本ワークショップでは、読売新聞記者の指導のもと、ニュース・リテラシーの考え方を学んだり、取材を体験したりしながら、具体的な提案をまとめ発表してもらいます。通常の就業体験インターンシップとは異なる実践型の社会連携教育プログラムです。

募集概要

募集期間	2024年9月10日(火)～9月23日(月・祝) 17:00 [期間厳守] ※9月21日～23日は事務所閉室となりますので、お問い合わせにお答えすることができません。ご注意ください。
募集対象	早稲田大学に所属する正規学部生・大学院生(修士課程)(学部、専攻、学年問わず)
活動期間	2024年10月8日(火)～12月10日(火)
応募条件	全ての公式日程(次頁)への参加が可能なこと
募集人数	15名程度
応募方法	以下の手順もしくは右のQRコードのリンク先から申請してください ① MyWASEDA にログイン ② お知らせ一覧から「企業連携ワークショップ 2024 秋冬編」を検索 ③ 「企業連携ワークショップ 2024 秋冬編応募フォーム」から「申請」をクリック 必要事項(志望理由 400 字程度、面接選考希望時間など)を入力して申請
オンライン 事前説明会 ・相談会	9/17(火) 13:00～13:40 ※参加方法等、詳細は配信メール中に記載 ※当日参加できない方は収録録画を視聴可能(希望制)
選考方法	① 書類選考: 志望理由などをもとに選考します 書類選考通過者には、面接時刻を9月25日(水)中に Waseda メールにて通知します ② オンライン面接選考(個人または集団面接): 9月27日(金) 面接内容をもとに総合的に選考します 面接選考の結果は、10月4日(金)までに Waseda メールにて通知します
注意事項	① 当ワークショップは正規授業ではないため、成績評価・卒業単位の認定等はありません。 ② 当ワークショップは原則として、対面での活動となります。 主な活動地は早稲田キャンパスや読売新聞東京本社(千代田区大手町1-7-1)です。 ③ 【重要】公式日程以外にも、自主的にグループワークを実施する機会が多く、期間中は当ワークショップの活動が中心となるよう、スケジュール管理はくれぐれも注意してください。 ※公式活動日は活動時間前後の時間も余裕をもって確保してください。 ④ オンラインで活動する場合があります。その場合、「公共の場所では参加しない」「ヘッドセットなどを装着する」など、第三者に実習内容を知られることがないように措置を講じてください。 ⑤ 参加にかかる費用(対面で実施する際の交通費、食事代、オンラインでの活動に必要な端末の購入費、通信費等)は、参加者による自己負担です。 ⑥ 早稲田大学の学生補償制度(傷害補償・賠償責任補償)に加入します。 ⑦ ワorkshop実施日と重複する正規授業等を欠席した場合でも、 公欠扱いとはなりません。 ⑧ ワorkshopでは連携先、大学がInstagram等公式 SNS を含む広報活動の目的で写真・映像を撮影します。掲載の際には個人特定されないよう十分留意いたしますが、あらかじめご了承ください。 ⑨ このプログラムは、グローバルエデュケーションセンターの提供する全学副専攻「地域連携・地域貢献」および実践型教育プログラム「地域連携実践コース」の対象プログラムです。 ⑩ 選考結果に関する問い合わせにはお答えいたしかねます。あらかじめご了承ください。
問合せ先	教務部教育連携課 企業連携ワークショップ事務局 (propro-yomiuri@list.waseda.jp) ※問い合わせの際には、件名のほか所属学部/研究科、学年、氏名を必ずメール本文に含めてください。

ワークショップスケジュール（公式日程）

	日程		内容・場所（下段）
10月	第1回	10月8日（火） 17:30～19:30	オリエンテーション：ワークショップ参加にあたって自己紹介・顔合わせ、レクチャー「大学生の皆さんに期待すること」 ※早稲田大学 ※授業等により欠席／遅刻／早退となる場合は応募フォームにて、理由とともにその旨お知らせください。
	交流会	10月14日（月） 17:30～19:30	ミニゲームやワークを通して参加学生同士の親睦を深める（企業担当者の出席はありません） ※早稲田大学
	第2回	10月15日（火） 17:30～19:30	読売新聞社見学、模擬取材体験 ※大手町
	—	10月16日（水） ～10月21日（月）	記事原稿作成・提出
	第3回	10月22日（火） 17:30～19:30	講義「認知戦」について ※早稲田大学
	第4回	10月29日（火） 17:30～19:30	作成原稿フィードバックおよび講義 ※早稲田大学
11月	第5回	11月5日（火） 17:30～19:30	グループワーク ※早稲田大学
	第6回	11月12日（火） 17:30～19:30	グループワーク ※早稲田大学
	第7回	11月19日（火） 17:30～19:30	中間報告会 ※早稲田大学
	第8回	11月26日（火） 17:30～19:30	グループワーク ※早稲田大学
12月	第9回	12月3日（火） 17:30～19:30	最終報告会リハーサル・グループワーク ※早稲田大学
	第10回	12月10日（火） 17:30～19:30	最終報告会 ※大手町 ※最終報告会終了後、振り返り会（1時間程度）を実施するため、解散時刻は20:30頃となります。

※各回の終了時刻は目安です。自主ワークなど時間を延長する可能性があります。

※上記公式日程以外にも、必要に応じて参加学生同士で相談し、自主的に集まる日程やオンラインでの会議等のスケジュールを決め、ワークショップを進めていきます（学生同士の話し合いに大学職員が参加することもあります）。

※形式、場所は状況に応じて適宜変更の可能性があります。

※全てのワークショップ活動終了後、振り返りならびにワークショップに関するアンケートを回答いただきます。

※ワークショップの様子は読売新聞の媒体などに掲載されることがあります。

※読売新聞では2025年3月11日に「認知戦」をテーマにフォーラムを開催する予定です。各グループから希望者を募り、ワークショップでの提言を会場で発表いただく予定です。